

ITで多様化社会に対応

「めもですく」や「東京検査棚」で
オフィススタイルを変えた

ライフスタイル市場が
進化する中で、IT（情
報技術）によるビジネス
支援とデザインのイノベ
ーション（革新）に挑戦
するチームラボ（東京）
00年に会社設立し、独自
技術を使った検索エンジ
ン「SAGOL」（サ
グール）の開発から水墨
画の3次元デジタルアー
ト、オフィス家具などの
デザインまで手がける創
造集団だ。7月には携帯
電話でKDDIと協業
し、ARデザインプロジ
ェクトから07年のコンセ
プトモデル「アクトフェ
イス」を発表した。

本質は多様

「産業革命を経て、社
会が多様性を我慢し、時
間やコストを圧縮しまし
た。もともと人間の本質



デザインで革新、次元変える

デ	ザ	イ	ナ	ブル
続		人	ライ	フ
				02

この人の発想に学べ

は多様です。江戸時代は
根付や羽裏など一人ひと
りが違う。情報革命によ
って、供給者が時間とコ
ストは圧縮したまま多様
になり、元に戻りまし
た」



猪子さん

生活者のし好が多様化
してきたと言われている
ことに對し、社長の猪子
寿之さん（30）は、冷静
に分析する。

既にパソコンや書籍、
楽田のネット販売企業は
膨大な商品数を扱ってい
る。また、同社のサービ
スコラントデータパン
クでは、3万人の持ち
物調査を半年に1回実施
し、ファッション分野

で、2人以上が所有して
いると回答したブランド
数は1万以上あるとい
う。

「パソコンだけでも、
1社で兆単位を超える商
品の組み合わせがあり、
生活者はその中からライ
トチョイスする時代。た
った数年のことですが、
今後こうした傾向はま
ます進むとみています」
多様化する社会を、検

別の価値を

案エンジンや類似情報を
提供するリコメンデーシ
ョンエンジンなどのITで
支えようという考え
だ。

その一方で、同社は新
新なデザイン創作に取り
組む。携帯電話のアク
トフェイスは、使う行為や
操作に楽しさや美しさな
ど別の価値を与える試
みだ。モデルは二つで、
「リズム」はボタンを押
すリズムに連動し、イン
ターフェイス全体に水墨
画が動き出す。「プレ
イ」は仮想の街を画面
上に作り、電話帳登録者
住人に置き換え、電話の
使用状況に応じて物語が
進む。

で、デザインの新しい考
え方を検証したかったん
です。レイヤー変えの発
想で、使い方から売り
方、買い方までも刷新し
ようというのが狙いで
す」

従来と違った次元で発
想する「レイヤー変え」
の意識は、すべてに貫
している。机の天板を厚
いメモ帳にした「めも
ですく」は、従来のホワイ
トボードを使ってメンバ
ーは聞くというスタイル
を変え、フラットな関係
で自由に議論する場を提
供する。

「表層的な格好良さを
追求したコンセプトでは
なく、レイヤー（層）を
変えたイノベーション
に数社で採用された。」